

J-SLA 2020 応募要項

日時：2020 年 8 月 21 日 (金) — 23 日 (日)

場所：あざれあ「静岡県男女共同参画センター」(<https://www.azarea-navi.jp/shisetsu/access/>)

招待講演：Lydia White (McGill University), Robert M. DeKeyser (University of Maryland)

J-SLA 2020 (日本第二言語習得学会・第 20 回年次大会) での研究発表を募集します。研究発表には

「口頭発表」、
「ポスター発表」、
「学生ワークショップにおける口頭発表」(下記 11 参照)

があります。発表を希望される方は、以下の要領でご応募ください。積極的なご応募をお待ちしております。

1. 応募資格

- a. 応募者は、大会の時点で J-SLA の会員でなければならない(学生ワークショップの場合は学生会員でなければならない)。ただし、共同発表者については、会員でなくてもよい。
- b. J-SLA への入会に関しては以下のサイトを参考にして下さい。
<http://www.j-sla.org/edit/>

2. 募集する研究の領域

第二言語習得の理論的・実証的研究

(当学会の「学会発足の趣旨」(<http://www.j-sla.org/about/purpose/>) を参照してください。)

3. 申し込み方法

発表要旨を電子メールで送付する。(書式に関しては、9 を参照してください。)

件名は、「J-SLA2020 abstract」とする。

送付先： j-sla2020abstract@j-sla.org (担当者：狩野 暁洋)

発表要旨は、必ず以下の二点を添付ファイルでお送りください。

- (1) 指定の書式に従った発表要旨を WORD のフォーマットで保存したもの
- (2) 指定の書式に従った発表要旨を PDF で保存したもの

* 不備がある場合、審査に時間を要し、結果報告などが遅れることにもなりますので、下記の「9. 要旨の書式」に従った上で、必ず両方をお送りください。

4. 締め切り

2020 年 2 月 28 日 (金) 11:59pm (日本時間)

5. 発表要旨受け取り確認のメールについて

担当者に電子メールにて発表要旨を添付ファイルで送付した場合、一両日中に担当者から受け取りメールが来ることになっています。万が一、受け取りのメールが来ない場合は、お手数ですが速やかに担当者までご連絡ください。誤って迷惑メールとして処理されてしまうことがあるかも知れませんので、よろしくお願いいたします。

6. 審査結果の発表

2020 年 3 月末ごろまでに、本人にメールにて報告する。

7. 口頭発表の時間について

口頭発表は 20 分で行うこととし、その後に 10 分間の質疑応答の時間を設ける。

8. 使用言語

日本語または英語

9. 要旨の書式 (不備がある場合、審査結果が遅れる原因にもなりますので、必ず以下の書式に従ってください。)

- (1) 英語のフォントは Times または Times New Roman 10.5 pt、日本語のフォントは MS 明朝 10.5 pt を使う。
- (2) 発表の言語と要旨に使用する言語を同一にする。
- (3) 要旨の長さについては、英語の場合には 1,000 words 以内、日本語の場合には 1,600 字以内とする。なお、図や表を加えてもよいが、最終的な原稿が A4 で 2 枚に収まるようにする。タイトル・図・表・参考文献は上記の語数・字数制限にはカウントされない。
- (4) タイトルを、要旨の最初の部分に記入する。
- (5) 審査を無記名の状態で行うため、要旨には氏名を記入しない。また、要旨を送付する前に、PDF ファイルから作成者情報を消去すること。
- (6) 要旨の最後の部分に、それぞれの長さ (英語の場合：語数、日本語の場合：文字数) を記入する。
- (7) 添付ファイルの送付の際、電子メールの本文に以下の情報を明記する。

* 氏名 (日本語) * 氏名 (英語) * 所属 (日本語) * 所属 (英語) * 住所 (郵便番号から)
* 電話番号 * 電子メールアドレス * 発表言語 (日本語か英語のいずれか)
* 以下の A~D の内、いずれを希望するか

A. 口頭発表のみを希望する

B. ポスター発表のみを希望する

C. 口頭発表を希望するが、(選考の結果) 口頭発表できない場合には、ポスター発表を希望する

D. 学生ワークショップにおける口頭発表を希望する（※要旨の右上に「学生ワークショップにおける口頭発表希望」と明記すること）

10. 注意事項

- (1) 未発表（他で発表もしくは出版されていない）のものに限る。
- (2) 代理発表は認めない。
- (3) 「口頭発表」は、個人研究・共同研究に関わらず、応募者一人について一件とする。
ただし、「ポスター発表」、「学生ワークショップ」（学生会員のみ）への同時応募はさまたげない。
その場合、発表内容は異なること。
- (4) 交通費・渡航費・宿泊費の援助は行っていない。

11. 「学生ワークショップ」は、第二言語習得研究を行っている大学生・大学院生のためのワークショップで、大会第1日目、または2日目の午前中に行います。このワークショップは、なるべく多くの人に発表してもらうため、いくつかのセッションを並行して行います。発表は20分、その後に10分間の質疑応答の時間があります。また、各セッションには、その分野の専門の研究者が参加して、助言を行います。発表内容は、現在進行中の研究についてでも構いません。他大学の学生との意見交換を通して、研究の幅を広げましょう。

<その他問い合わせ先>

J-SLA 事務局 若林 茂則 (j-sla2020@j-sla.org)